

Ⅲ 金武湾・中城湾漁場環境保全調査（概要）

田場典秀、伊野波盛仁、上原孝喜

近年本県においても諸産業規模の拡大、及び生活用廃水の増大に伴って、沿岸漁場の水質・底質の悪化が顕著になってきている。これらの実態を把握し、今後の保全対策に資するため、県下の大型湾2海域を選定し漁場環境調査を行なった。

金武湾に7点、中城湾に9点の調査定点を設定し、10調査項目（透明度、プランクトン、表層と底層の水温、塩分、PH、懸濁物、過マンガン酸カリウム消費量、アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、リン酸態リン）について夏（7月）と冬（2月）の2回実施した。その内容と結果の報告は別冊にてとり行なう。